


平成17年3月期事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

 理想科学工業株式会社

RISO
REPORT
2005

株主・投資家の皆様へ

株主・投資家の皆様には、日頃から格別のご支援ならびにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。ここに当社平成17年3月期事業報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

中期経営計画「Riso Vision 07」(P2参照)の1年目にあたる平成17年3月期は、売上高は当初の計画を下回ったものの4期連続の増収となりました。しかし営業利益は新製品投入にともなうコスト増加もあり減益となりました。

配当金につきましては前期と同様に1株当たり60円といたしました。

中期経営計画の2年目にあたる今期は、「インクジェット事業の拡大」「同時2色印刷機の拡販」「全体最適を指向した開発・技術・生産運営」「マネジメント意識改革の推進」「環境経営の推進とVCM体制の構築」の5項目を重点課題として運営いたします。

また、高い顧客満足度の実現、法令遵守の徹底、ISO14001を中心とした環境マネジメント体制の維持など、企業の社会的責任の実行に全社員が高い意識をもって取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、何卒いっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成17年6月

代表取締役社長
羽山 明

中期経営計画 Riso Vision 07

当社グループは、コアビジネスである『孔版事業』による収益拡大に加え新規事業『インクジェット事業』による成長基盤の確立を図るため、平成19年(2007年)3月期までの中期経営計画「Riso Vision 07」を策定し、着手しております。

基本方針

1. 新規商品開発の加速と開発体制の強化・充実
2. 孔版事業の更なる拡大への挑戦
3. 新規インクジェット事業の確立
4. 低コスト・在庫圧縮を実現する生産物流体制の構築
5. 将来の発展を牽引する人材開発の実施
6. 法令の遵守及び環境に配慮した企業運営

活動計画

● 開発部門 ●

新規商品開発の推進
コンカレントエンジニアリングの強化

● 営業部門(国内・海外) ●

コアビジネスの強化
「オルフィス HC5000」による新市場創造

● 製造部門 ●

海外生産体制の強化
在庫の大幅な圧縮への挑戦

● 本社部門 ●

人材育成
コンプライアンスの徹底

1. 連結売上高 1,000億円
2. 連結売上高営業利益率 10% を目指す

孔版とインクジェットを 事業の“2本柱”として

理想科学は、中期経営計画「RISO Vision 07」のもと企業価値の継続的な向上をめざし、収益の拡大に努めています。その現状と今後の事業方針などについて、羽山明社長に聞きました。



代表取締役社長 羽山 明

Q: 中期経営計画「RISO Vision 07」を策定して2年目となります。この1年を振り返っての感触はいかがでしたでしょうか。

A: 平成14年3月期～16年3月期の3ヵ年で、収益の早期回復と経営基盤の強化に努めた結果増収増益を実現することができました。「RISO Vision 07」は、この経営体質をより強固なものにすることを目的としたもので、平成19年(2007年)3月期において連結売上高1,000億円、連結売上高営業利益率10%をめざしています。

この実現のためには2つの課題があります。ひとつは「孔版事業」をさらに拡大させること。もうひとつは、新規の「インクジェット事業」を確立することです。

孔版事業については、昨年「リソグラフ RZシリーズ」と同時2色印刷機「リソグラフ MZシリーズ」の主力2シリーズを発売しました。今期から本格的に売上に貢献していくと考えています。特に「MZシリーズ」は、簡単操作で2色に色分け印刷できる機能を備え、新しい需要を



同時2色印刷機
「リソグラフ MZ770」

拓いていくポテンシャルを持っています。孔版事業の大きな柱として育ててまいります。

高速フルカラープリンター「オルフィス HC5000」については、昨年夏以降全国各地での展示会やテレビCMにより認知度のアップと拡販に努めました。

展示会の反響は大きなものがありました。導入をすぐに検討されるお客様も数多くいらっしゃいました。

当初は、まったく新しい商品のため魅力を理解してもらうのに時間がかかるかもしれないと思っていました。しかしご覧になった方からはすぐに力強い反応があり、実際に大きなマーケットがあることを確信しました。

これからは、いかにマーケットを深掘りしていくかです。この1年で、どれだけ加速できるかが重要だと思っています。

Q: そのためのポイントは何でしょうか。

A: 新しいマーケットを創り出すのは華やかなことですが、商品を根づかせ、定着させていくためには地道な作業の積み重ねが必要です。開発から生産、販売に至るすべての部門の一人ひとりが努力し、レベルアップを図ってまいります。

なかでも販売力の強化は急務であり、認知度のアップと同時に人材の育成も積極的に進めていきたいと考えています。

営業担当者は商品を理解すると同時にお客様のニーズを正しく理解する必要があります。商品



高速フルカラープリンター
「オルフィス HC5000」

の価値をお客様にわかっていただくためには、すべてお客様の視点でものを考えていかなければなりません。今後は、販売成功事例の共有や営業マネジメントの強化など全社的な底上げを図っていく考えです。

当社グループでは、全社員約3,500人のうち6割以上が販売業務に従事しています。販売部門をいかに活性化するかが、インクジェット事業成功の大きなポイントになります。

Q: 近年、企業の存在意義そのものが問われるようになってきました。「社会的に責任ある企業」としてのRISOの考えや取り組みについてお聞かせください。

A: 企業の役割には2つの側面があると思います。ひとつは“営利団体”であること、もうひとつは“従業員の生活の場”であることです。それを十分に理解した上で、世の中の質的・量的向上の

ために何らかの形で貢献すると同時に、ステークホルダー(利害関係者)に対し会社として考えていることをきちんと説明し、ご理解を得ていくことが不可欠であると考えています。

そのため中期経営計画「RISO Vision 07」にも、コンプライアンス(法令遵守)と環境に配慮した企業経営を基本方針に掲げています。

コンプライアンスについては、法令の遵守だけでなく、正義感に基づいて判断できる力を持つことにも主眼を置き、社員教育などプログラムづくりを進めています。人間である以上ミスや間違いは必ずあります。また、法令を守っているつもりでも世の中のスタンダードから外れてしまう可能性もあります。役員・従業員一同企業に対する社会の要請を常に敏感に感じるのが、コンプライアンスプログラムを浸透させる鍵であると思います。

環境問題にも積極的に取り組み、製品の開発・生産から廃棄までトータルに環境負荷の低減をめざしております。昨年8月には環境に関する取り組み状況をまとめた「環境報告書2004」を発行しました。



環境報告書2004

Q: 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A: 当社は株主の皆様のご期待にお応えするため、企業価値の継続的な向上をめざし、収益の拡大に努めております。

利益配分については、開発投資および販売チャネルの充実とともに財務体質を強化しつつ、利益水準を考慮した安定配当を実施してまいりたいと考えています。なお、私が社長に就任してからの6年間では、当期純利益の累計は164億円ですが、配当金の総額は45億円です。この他に自己株式の買入れを55億円行っております。

現在当社は、主力である孔版印刷機事業に加え高速フルカラープリンター「オルフィスHC5000」のインクジェット事業を開始し、収益拡大に努めております。このインクジェット事業を2本目の柱として今後大きく育てていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会とともに

製品リサイクルへの取り組み

当社は、「美しい健全な環境を次世代に引き継ぐために地球規模での環境保全に貢献する」ことを“理想環境憲章”に謳い、環境負荷の低減に向けた活動を全社で推進しています。

その一つとして、平成11年から部品の再使用により資源の有効活用をめざしたリサイクル機「リソグラフ REシリーズ」の発売を開始しました。REシリーズは回収したリソグラフを高度な技術により再生・整備し、再びご利用いただくリサイクル対応のデジタル印刷機です。独自の循環型レンタル方式を採用し、アフターサービス面もきめ細かくサポートしています。

使用済みの自社製インクボトルについても、資源の有効活用の一環としてリサイクルを進めています。回収後に、「リソグラフ」をはじめとしたデジタル印刷機のパーツ等に成型加工しているほか、ハンガーやプリンターなどの生活に役立つ品物にも加工しています。また一部は、工場などの代替燃料として活用されています。



リサイクル機
「リソグラフ RE33FN」



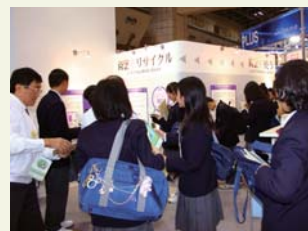
リサイクル成型品の一例

「エコプロダクツ2004」に出展

当社は地球環境保全に取り組む企業姿勢を多くの方々にご紹介するため、環境総合展示会「エコプロダクツ」に毎年出展しています。

「エコプロダクツ」は、あらゆる分野の企業・団体が参加する国内最大の環境総合展示会です。昨年12月に開催された「エコプロダクツ2004」には、453の企業・団体が出展、12万人を越す来場者が訪れました。

当社は“RISOエコツアー”をテーマに、グリーン購入法適合製品のデジタルプリンター「リソグラフ RZシリーズ」の環境負荷低減の成果を紹介するとともに、環境保全に関する取り組みをクイズ形式で紹介。小学生から大人まで幅広い年代の人に熱心に見学していただきました。



東京ビッグサイトで行われた
「エコプロダクツ2004」
(平成16年12月)

新潟県中越地震及びスマトラ島沖地震の被害に対する支援について

当社は、新潟県中越地震に際し被災者の方々のために新潟県災害対策本部に義援金を送りました。また、スマトラ島沖地震の被災者やインド洋各国における津波被災者の方々の支援するため、日本赤十字社を通じて寄付を行いました。

RISO TOPICS

業界初毎分150枚の高速同時2色印刷を実現した「リソグラフ MZシリーズ」を発売

当社は、業界初の毎分150枚での高速同時2色印刷を実現した「リソグラフ MZシリーズ」を開発し、平成16年12月から発売しました。

同製品は、2色印刷に対応した独自の画像編集機能「かんたん分版」機能の搭載により、簡単操作で原稿を2色に色分けして印刷することができます。印刷に不慣れな方でも使いやすい設計で、多色印刷をする機会が少ないオフィスや学校などでも手軽に2色の印刷物が作成できます。

さらに、オプション機能として、液晶パネル内で画像編集ができるソフトデジタイザ機能や、画像をメモリーから呼び出して組み合わせ印刷ができるオーバーレイ機能など、画像編集に役立つ各種拡張機能も利用できます。また、オプションのネットワークカードを接続することで、経済的なプリント環境が実現できる「RISOハイブリッドプリントシステム」にも対応可能です。



シンプル操作で手軽に2色プリントができる「リソグラフ MZ770」

「愛・地球博」に協賛、オルフィスなどが広く活躍

当社は、「自然の叡智」をテーマに3月25日から9月25日まで愛知県(名古屋東部丘陵)で開催中の2005年日本国際博覧会(愛・地球博)に協賛しています。万博協会事務局、地球市民村、EXPOドームの3会場に高速フルカラープリンター「オルフィス HC5000」をはじめとする当社製品を提供し、同博覧会を支援しています。

長久手会場西管理棟にある万博協会事務局では、各パビリオンの事務局や協会内のスタッフ向けの連絡文書などが、フルカラーの写真や図を交え印刷されています。また国内・海外のNPO/NGO約80団体の交流施設となる「地球市民村」では、参加する団体のスタッフが各催しのビラなどを印刷。開会式、閉会式をはじめ大型イベントなどが行われる半屋外型のメインイベント会場EXPOドームでもイベントのプログラムの作成や、チラシなどに活用されています。

各会場ではオルフィスの高速性、即時性、経済性が高く評価され、それぞれの用途に応じて広く活躍しています。



万博協会事務局で使われている2台の「オルフィス HC5000」



「愛・地球博」長久手会場メインゲート

「オルフィス HC5000」のテレビCM放映 イメージキャラクターに瀬戸朝香さんを起用

女優の瀬戸朝香さんをイメージキャラクターに起用した「オルフィス HC5000」のテレビCMが昨年10月から全国で放映されています。

「オルフィス HC5000」は、毎分105枚*の印刷スピードをインクジェット方式で初めて実現した高速フルカラープリンターです。画期的な低ランニングコストも実現し、カラープリントをより身近なものにしました。

CMは、次々と出力されるプリントを驚きの表情で見つめる「スピード体感 凝視篇」と、プリントをさっと手にとり小脇に抱えて持ち去る「スピード体感 移動篇」の2種類を制作。瀬戸朝香さんの驚きの仕草やさっそうと歩く姿により、「オルフィス HC5000」の特長の一つであるスピード感をシンプルかつダイレクトに訴求しました。

同製品のイメージキャラクターとして、CM以外にも新聞などの広告・製品カタログやWebサイトの製品プロモーションにも登場しています。なお、4月から新CMを放映しております。

*：A4判横送り、片面・標準設定連続印刷時



テレビCMは当社Webサイト
「オルフィスTVプロモーション」からもご覧いただけます
<http://www.riso.co.jp/catalog/orphis/index.html>

「プリントゴッコ jet V-10」発売1周年を 記念したカードアート作品展を開催

昨年11月、理想ベックと当社は「プリントゴッコ jet V-10」発売1周年を記念し、東京・銀座のギャラリーロイヤルサロンギンザにてカードアート作品展を開催しました。

本展には、二科会デザイン部の会員、会友をはじめ、各分野で活躍するアーティストが「プリントゴッコ jet V-10」を使って制作した芸術性の高い作品200点以上が展示されました。会期中には同製品を使用した手作り年賀状体験教室も開催され、来場者の熱心に取り組む姿も見られました。

また、本展で展示した一部の作品をWeb上に載せた「E画廊」(<http://www.e-garou.jp/>)も開設。自由に作品を見て、購入できるようにしました。



東京・銀座のギャラリー ロイヤルサロンギンザで行われた
「プリントゴッコ jet V-10」カードアート作品展(平成16年11月)



インターネットカードギャラリー
「E画廊」トップページ

経営実績—当期の概況

当社グループは、中期経営計画の初年度にあたる今期、新製品の販売展開の実行、設計技術・生産力の飛躍的向上、米州・中国販売の活性化、顧客志向に基づく企画・開発の強化の4点を重点課題として運営してまいりました。当期は、高速フルカラープリンター「オルフィス HC5000」の販売に注力し、海外でも昨年10月から販売を開始しました。デジタル印刷機では、操作性と画質を向上させた新たな主力商品となる「リソグラフ RZシリーズ」の販売を開始。昨年12月には業界初の毎分150枚で同時2色印刷を実現した「リソグラフ MZシリーズ」を国内市場に投入しました。

以上のような活動の結果、当期の連結売上高は851億6千1百万円(前期比1.8%増)となりました。

当期の販売実績を地域別に見ますと、国内では印刷機本体の売上は計画を下回りましたが、根強いサプライ需要や高速フルカラープリンター「オルフィス HC5000」の投入効果により堅調に推移しました。売上高は不動産その他事業も含め、449億3千3百万円(前期比5.9%増)となりました。

米州では、「オルフィス HC5000」や「リソグラフ RZシリーズ」を市場投入しましたが、直販が伸び悩んだことや円高の影響もあり、売上高は130億9千9百万円(前期比6.8%減)にとどまりました。

欧州では、「オルフィス HC5000」の市場投入効果やフランス子会社の好調な業績に支えられ、順調に推移しました。この結果売上高は、171億3千8百万円(前期比6.1%増)となりました。

アジアでは、東南アジア市場はほぼ計画どおりの成果を上げることができましたが、中国市場は低価格機種にシフトしたことや利益重視の販売政策に変更したため、

当初の計画を下回りました。この結果、売上高は99億9千万円(前期比9.4%減)となりました。

また連結の利益面では、新製品投入にともなうコストの増加により売上総利益が18億2千5百万円減少したため、営業利益は65億7千4百万円(前期比21.3%減)となりました。経常利益は、営業外費用として固定資産除却損やオルテック株式会社に係る持分法投資損失を計上したことにより58億8千3百万円(前期比11.9%減)となりました。

これらの結果、当期純利益は32億8千万円(前期比9.0%減)となりました。

当期の配当金は、前期と同額の1株当たり60円とさせていただきます。

次期の見通し

当社グループは、新中期経営計画「Riso Vision 07」(P2参照)に沿って事業に全力で取り組む所存です。

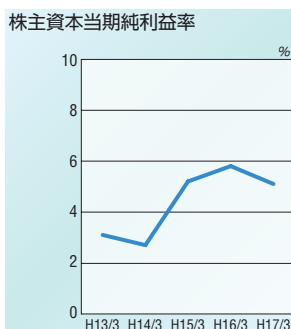
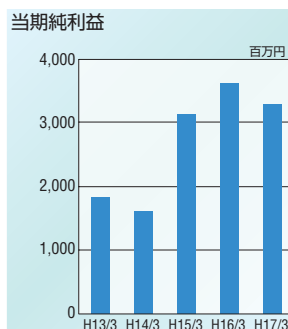
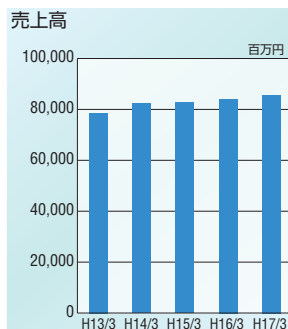
国内では、「リソグラフ MZシリーズ」や「オルフィス HC5000」の拡販による売上増加を想定しております。

海外は、米州では「オルフィス HC5000」の拡販による業績の向上を見込んでおります。欧州では直販力を継続して強化していくことにより増収になるものと考えております。アジアでは印刷機本体の拡販による売上増加を想定しております。

次期の連結業績見通しは、売上高897億円(前期比5.3%増)、経常利益58億円(前期比1.4%減)、当期純利益33億円(前期比0.6%増)を予定しております。

なお、次期業績見通しにおける為替レートは、米ドル103円、ユーロ133円を前提としています。

業績ハイライト(連結)



		平成13年3月期	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期
売上高	(百万円)	78,264	81,906	82,414	83,666	85,161
営業利益	(百万円)	3,749	5,595	6,918	8,353	6,574
経常利益	(百万円)	3,543	4,538	6,619	6,680	5,883
当期純利益	(百万円)	1,828	1,595	3,124	3,604	3,280
株主資本当期純利益率	(%)	3.1	2.7	5.2	5.8	5.1
株主資本	(百万円)	59,631	59,983	60,905	63,732	65,834

財務諸表の概要 (連結)

貸借対照表

(資産の部) (単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成17年3月31日	平成16年3月31日	
流動資産	67,601	64,070	
現金及び預金	31,671	30,377	
受取手形及び売掛金	18,297	16,153	
有価証券	2,200	2,799	
たな卸資産	12,664	11,303	
その他	3,956	4,287	
貸倒引当金	△1,190	△851	
固定資産	44,950	43,303	
有形固定資産	32,469	32,758	
建物及び構築物	8,595	8,934	
機械装置及び運搬具	2,021	1,916	
土地	14,899	14,899	
その他	6,953	7,008	
無形固定資産	2,052	1,885	
ソフトウェア	1,134	1,163	
その他	918	721	
投資その他の資産	10,427	8,659	
投資有価証券	4,283	3,375	
その他	6,439	5,567	
貸倒引当金	△296	△283	
資産合計	112,551	107,374	

(注) 有形固定資産の減価償却累計額37,265百万円

POINT 1

貸倒引当金 (流動資産)

海外子会社の売掛債権に対して貸倒引当金を計上しました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

(負債の部) (単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成17年3月31日	平成16年3月31日	
流動負債	25,685	22,925	
支払手形及び買掛金	11,357	10,347	
短期借入金	5,292	4,799	
一年内返済予定の長期借入金	69	67	
その他	8,965	7,711	
固定負債	20,885	20,589	
転換社債	16,915	16,915	
長期借入金	169	260	
その他	3,800	3,414	
負債合計	46,570	43,515	
少数株主持分	146	126	

(資本の部) (単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成17年3月31日	平成16年3月31日	
資本金	14,114	14,114	
資本剰余金	14,779	14,779	
利益剰余金	39,078	36,673	
その他有価証券評価差額金	976	730	
為替換算調整勘定	△802	△1,163	
自己株式	△2,311	△1,402	
資本合計	65,834	63,732	
負債、少数株主持分及び資本合計	112,551	107,374	

POINT 2

支払手形及び買掛金

「オルフィス HC5000」等の仕入れが増加しました。

■ 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成16年4月1日～ 平成17年3月31日	平成15年4月1日～ 平成16年3月31日	平成15年4月1日～ 平成16年3月31日
売上高	85,161	83,666	
売上原価	39,859	36,538	
売上総利益	45,302	47,128	
販売費及び一般管理費	38,727	38,774	
営業利益	6,574	8,353	
営業外収益	530	525	
営業外費用	1,221	2,198	
経常利益	5,883	6,680	
特別利益	—	—	
特別損失	—	—	
税金等調整前当期純利益	5,883	6,680	
法人税、住民税及び事業税	2,526	2,423	
法人税等調整額	61	646	
少数株主損益	15	5	
当期純利益	3,280	3,604	

POINT 3

売上総利益

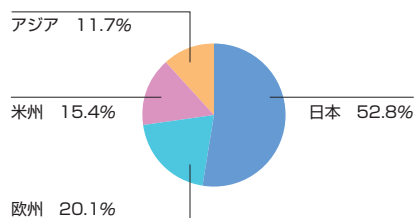
新製品投入によるコスト増加等により売上原価が増加したため、減少しました。

■ キャッシュ・フロー計算書

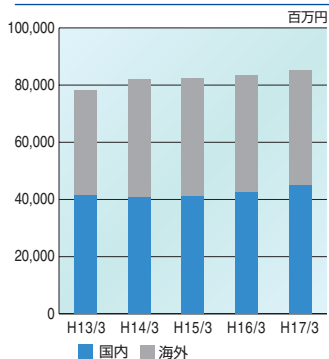
(単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成16年4月1日～ 平成17年3月31日	平成15年4月1日～ 平成16年3月31日	平成15年4月1日～ 平成16年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,282	6,587	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,267	△5,979	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,431	△3,541	
現金及び現金同等物に係る換算差額	109	△239	
現金及び現金同等物の増減額	1,693	△3,173	
現金及び現金同等物の期首残高	31,832	35,006	
現金及び現金同等物の期末残高	33,526	31,832	

地域別売上高比率



国内・海外売上高



(単位：百万円)

	H13/3	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3
売上高計	78,264	81,906	82,414	83,666	85,161
国内	41,363	40,596	40,978	42,430	44,933
海外	36,900	41,310	41,436	41,235	40,228

財務諸表の概要 (単独)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成17年3月31日	平成16年3月31日	平成16年3月31日
流動資産	51,956	49,335	
現金及び預金	27,866	25,955	
受取手形	1,236	1,203	
売掛金	13,790	11,732	
有価証券	2,200	2,799	
たな卸資産	4,838	4,981	
その他	2,108	2,701	
貸倒引当金	△84	△38	
固定資産	54,435	53,713	
有形固定資産	30,244	30,765	
建物及び構築物	8,510	8,840	
土地	14,899	14,899	
その他	6,834	7,026	
無形固定資産	1,457	1,183	
投資等	22,734	21,764	
投資有価証券	4,283	3,375	
関係会社株式	9,876	9,876	
その他	8,745	8,715	
貸倒引当金	△171	△203	
資産合計	106,392	103,048	

(負債の部)

(単位：百万円)

科目	当期		前期
	平成17年3月31日	平成16年3月31日	平成16年3月31日
流動負債	17,564	16,307	
支払手形	2,080	2,410	
買掛金	9,081	7,886	
一年内返済予定の長期借入金	6	7	
その他	6,395	6,003	
固定負債	20,337	20,135	
転換社債	16,915	16,915	
長期借入金	121	151	
その他	3,300	3,068	
負債合計	37,901	36,442	

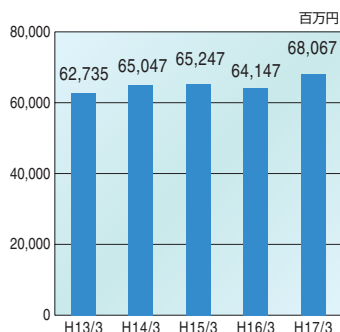
(資本の部)

(単位：百万円)

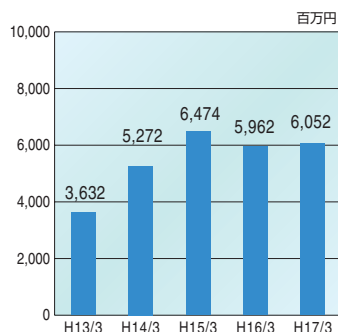
科目	当期		前期
	平成17年3月31日	平成16年3月31日	平成16年3月31日
資本金	14,114	14,114	
資本剰余金	14,779	14,779	
利益剰余金	40,932	38,383	
(うち当期純利益)	(3,423)	(3,612)	
その他有価証券評価差額金	976	730	
自己株式	△2,311	△1,402	
資本合計	68,491	66,606	
負債及び資本合計	106,392	103,048	

(注) 有形固定資産の減価償却累計額34,023百万円

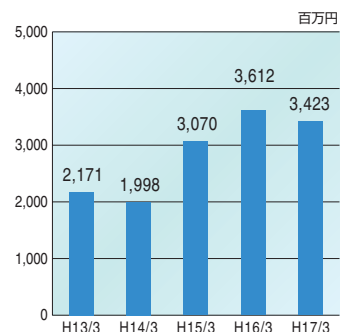
売上高



経常利益



当期純利益



■ 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成16年4月1日～ 平成17年3月31日	平成15年4月1日～ 平成16年3月31日
売上高	68,067	64,147
売上原価	37,643	33,020
売上総利益	30,423	31,126
販売費及び一般管理費	24,643	24,619
営業利益	5,779	6,507
営業外収益	782	384
営業外費用	509	929
経常利益	6,052	5,962
特別利益	—	—
特別損失	792	190
税引前当期純利益	5,260	5,772
法人税、住民税及び事業税	2,137	2,109
法人税等調整額	△300	50
当期純利益	3,423	3,612
前期繰越利益	3,776	3,539
利益による自己株式消却額	—	—
当期末処分利益	7,200	7,152

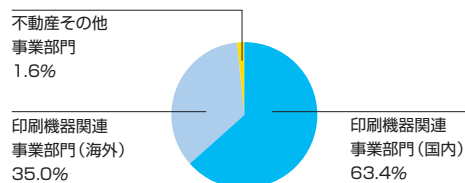
■ 利益処分

(単位：百万円)

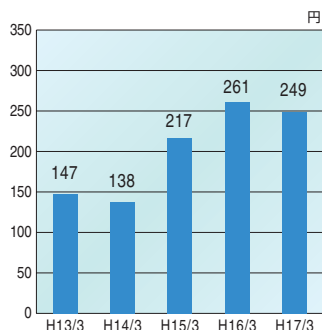
科目	当期	前期
	平成17年3月期	平成16年3月期
当期末処分利益	7,200	7,152
利益配当金	801	813
取締役賞与金	48	62
別途積立金	2,500	2,500
次期繰越利益	3,851	3,776

(注) 利益配当金は、自己株式673,490株分を除いております。

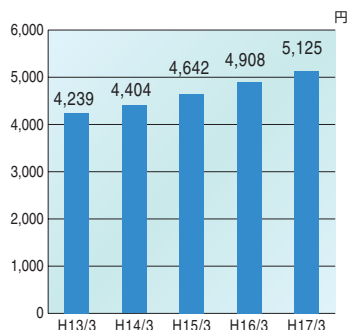
売上高構成比率



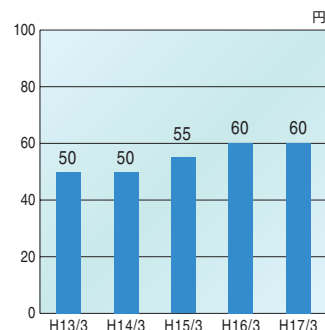
1株当たり当期純利益



1株当たり株主資本



1株当たり配当金



国内

当社の販売ネットワークは、16営業部41支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。技術スタッフの育成は、研修センターを中心に全国で行われています。

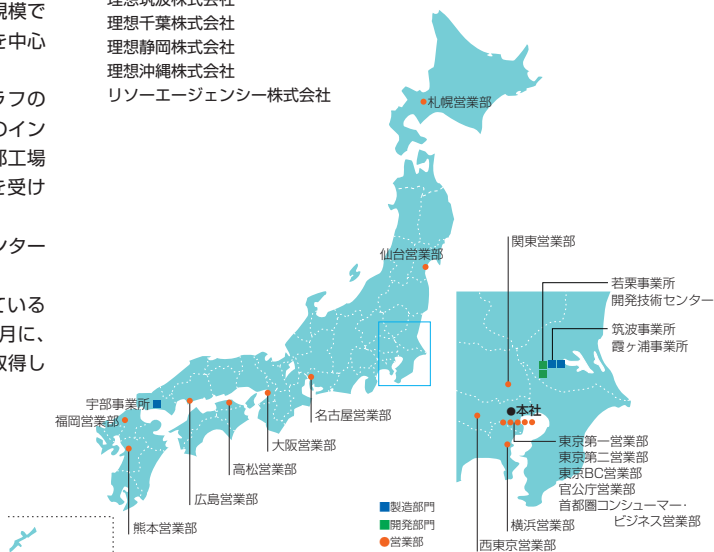
国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場はリソグラフのハードウェアを生産しています。霞ヶ浦工場はリソグラフのインク・マスターとオルフィスのインクを生産しています。宇部工場はリソグラフのインク・マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門は本社のほか、若栗事業所と開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。

開発技術センターと筑波工場・出荷センターで構成している筑波事業所は平成12年12月に、宇部事業所は平成13年8月に、国際環境マネジメントシステム規格ISO14001の認証を取得しました。

◆国内の主な子会社

- 株式会社 理想ベック
- 理想筑波株式会社
- 理想千葉株式会社
- 理想静岡株式会社
- 理想沖縄株式会社
- リソーエージェンシー株式会社



本社



若栗事業所



霞ヶ浦事業所



開発技術センター
平成12年、ISO14001 認証取得



筑波事業所
平成12年、ISO14001 認証取得
平成15年、ISO9001 : 2000 認証取得



研修センター



宇部事業所
平成13年、ISO14001 認証取得

海外

当社は17の海外子会社を中心に、RISO HC5000、RISOプリンター、リソグラフなどの販売や、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちとのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。



● 海外の主な子会社

RISO, INC.
 RISO CANADA, INC.
 The Corporation of RISO de Mexico, S.A. de C.V.
 RISO EUROPE LTD.
 RISO (U.K.) LTD.
 RISO (Deutschland) GmbH
 RISO POLAND Sp. zo.o.
 RISO FRANCE S.A.
 RISO IBERICA, S.A.
 RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.
 RISO AFRICA (PTY) LTD.
 RISO HONG KONG LTD.
 RISO (Thailand) LTD.
 理想 (上海) 国際貿易有限公司
 珠海理想科学工業有限公司
 RISO KOREA LTD.
 理想工業 (香港) 有限公司



RISO, INC.
(アメリカ・ボストン)



RISO (Deutschland) GmbH
(ドイツ・ハンブルグ)



RISO (Thailand) LTD.
(タイ・バンコク)



RISO EUROPE LTD.
(イギリス・ロンドン)



RISO FRANCE S.A.
(フランス・リヨン)

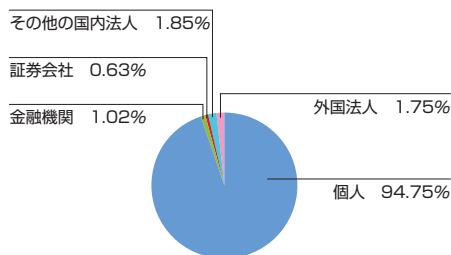


珠海理想科学工業有限公司
珠海工場 (中国・広東省)

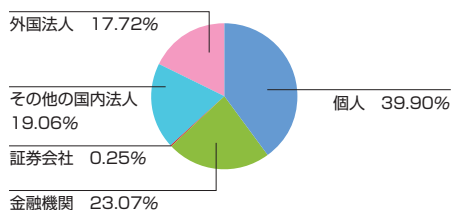
株式の状況 (平成17年3月31日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	33,920,000株 (前期末比増減なし)
■ 発行済株式総数	14,026,500株 (前期末比増減なし)
■ 株主数	2,857名 (平成16年3月末比61名増加)

■ 株主数比率



■ 株式数比率



■ 大株主一覧 (上位10人)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社理想社	1,235	8.80
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー)		
サブアカウントアメリカンクライアント	936	6.67
日本トラスティ・サービス		
信託銀行株式会社 (信託口)	766	5.46
羽山 昇	699	4.98
財団法人理想教育財団	665	4.74
日本マスタートラスト		
信託銀行株式会社 (信託口)	628	4.48
羽山 明	423	3.01
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー		
リユー・エス タックス エグゼンプトドベンション ファンズ	412	2.94
みずほ信託退職給付信託東京都民銀行口		
再信託受託者資産管理サービス信託	391	2.79
理想科学工業従業員持株会	375	2.67

- (注) 1. みずほ信託退職給付信託東京都民銀行口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数391千株は、株式会社東京都民銀行が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものです。
2. 当社は自己株式673千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

■ 自己株式の取得について

平成16年6月25日開催の第50回定時株主総会において、定款に取締役会決議による自己株式の買受けに関する規定を新設することが承認可決されました。

◎上記授權内容に基づき、平成17年3月31日までに自己株式の取得を下記のとおり実施いたしました。

取得した株式数	204,700株
取得価格	908,070千円

会社概要

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,488,048円 (平成17年3月31日現在)
- 従業員数 1,516名 (平成17年3月31日現在)
- 連結子会社 28社(国内9社 海外19社) (平成17年3月31日現在)
- 役員
代表取締役社長 羽山 明
専務取締役 河合 伸雄
専務取締役 黒岩 経成
常務取締役 高橋 靖宏
取締役 酒井 純司
取締役 竹内 佳郎
取締役 阿部 和男
取締役 尾形 純一
取締役 細谷 任道
取締役 石橋 英悟
取締役 岡田 良隆
取締役 村上 愛三*1
常勤監査役 吉原 和子
常勤監査役 波田 祥吾
監査役 鈴木 瀧夫*2
監査役 飯塚 良成*2

(平成17年6月24日現在)

(注) *1 商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役です。

*2 株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

■ 株主インフォメーション ■

株主の皆様用の諸手続きに関する情報が、フリーダイヤルやホームページから24時間入手できます

当社の株式事務を取り扱っております中央三井信託銀行では、株主の皆様の住所変更、配当金振込などの用紙のご請求を、電話およびインターネットのホームページで24時間受付しております。ぜひご利用ください。

● 電話による用紙のご請求

受付フリーダイヤル：0120-87-2031

(操作の方法は、音声案内に従ってください)

- ご請求できる用紙 (4種類)

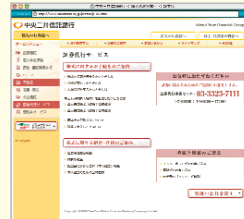
住所変更届 名義書換請求書
単元未満株式買取請求書 配当金振込指定書

● インターネットでも用紙のご請求を受付けております

ホームページアドレス：

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます)



※保管振替制度をご利用されている方は、お取引のある証券会社へのお届けとなります

● お問い合わせ先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 03(3323)7111 (代表)

◆今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

決算期日	毎年3月31日
定時株主總會	毎年6月
基準日	毎年3月31日
	そのほか必要があるときには、あらかじめ公告する一定の日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日（中間配当をする場合）
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話(03)3323-7111(代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店
銘柄コード	6413
名義書換手数料	無料
新株券交付手数料	新株券1枚につき印紙税相当額（ただし、満欄による場合は無料）
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書を決算公告に代えて、ホームページに掲載することといたしました。 当社のホームページアドレスは次のとおりです。 http://www.riso.co.jp/kessan/
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話03(5441)6611

● お知らせ ●

株券失効制度について

株主様が所有の株券を紛失された場合、これまでは裁判所にて公示催告と除権判決というお手続きでしたが、今後は、当社の名義書換代理人である中央三井信託銀行に対して紛失株券を失効するための「株券喪失登録」を申請し、1年間異議申出が無ければ株券を再発行できることとなりました。詳しくは、中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

単元未満株式の買増制度について

当社定款規定の変更により「単元未満株式の買増制度」を導入いたしました。1単元(100株)に満たない株式を所有されている株主様で、買増しをご希望される方は中央三井信託銀行証券代行部までお問い合わせください。また、保管振替制度ご利用の株主様は、お取引のある証券会社へお問い合わせください。

● お問い合わせ先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 03(3323)7111(代表)

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル



本事業報告書は、環境にやさしい大豆インキと、再生紙を使用しております。